



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月4日

上場取引所 東

上場会社名 三菱食品 株式会社

コード番号 7451 URL <http://www.mitsubishi-shokuhin.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 井上 彪

問合せ先責任者 (役職名) IR室長

(氏名) 山川 幸樹

TEL 03-3767-5204

四半期報告書提出予定日 平成27年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	584,953	1.3	2,464	63.5	3,077	44.2	2,765	107.0
27年3月期第1四半期	577,207	△0.4	1,507	△44.8	2,134	△34.4	1,336	△42.0

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 3,358百万円 (41.1%) 27年3月期第1四半期 2,379百万円 (8.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	48.40	—
27年3月期第1四半期	23.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	586,982	141,172	23.9	2,455.53
27年3月期	577,191	139,021	23.9	2,416.01

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 140,305百万円 27年3月期 138,052百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	21.00	—	21.00	42.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	21.00	—	21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
第2四半期(累計)	1,170,000	△1.5	5,400	△7.9	6,300	△10.9	4,800	3.1
通期	2,350,000	0.5	15,700	2.9	17,500	1.6	11,000	12.8
								円 銭
								84.00
								192.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期1Q	58,125,490 株	27年3月期	58,125,490 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期1Q	986,733 株	27年3月期	985,050 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	57,139,713 株	27年3月期1Q	57,140,712 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	10
(1) 品種別売上高明細表	10
(2) 業態別売上高明細表	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成27年4月1日～6月30日)におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融政策により緩やかな景気回復基調が継続し、個人消費は良好な企業収益や人手不足に伴う所得雇用環境の改善に伴い、消費増税後の落ち込みから持ち直しているものの、そのペースは緩やかにとどまり、力強さに欠ける状況で推移いたしました。

食品流通業界においては、生活者の節約志向が長引くなか、円安を背景とした食品の相次ぐ値上げ等による生活防衛意識の高まりから個人消費の下押しが懸念されるなど、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループは、流通構造の全体最適実現に向け、営業・物流面でのメーカーサポート機能、原料調達、製造過程を含めた商品開発におけるトータルコーディネート機能の強化を図っております。

また、拡大が見込まれる海外市場、EC市場、ウェルネス市場における戦略的な対応を強化するために、本年4月に「戦略市場本部」を設置し、各分野への取り組みを積極的に推進する体制へと整備いたしました。

加えて、取引先との関係強化を図るとともに、物流費を中心としたコスト削減を継続的に実行することにより、業績の向上を目指しております。

当第1四半期連結累計期間の業績は、昨年4月の消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減からの復調等により、売上高は5,849億53百万円(前年同期比1.3%増加)、営業利益は24億64百万円(前年同期比63.5%増加)、経常利益は30億77百万円(前年同期比44.2%増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は27億65百万円(前年同期比107.0%増加)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①加工食品事業

消費増税後の反動減からの調味料類等の復調に加え、気温上昇により飲料類が好調に推移したこと等から、売上高は増加いたしました。利益面につきましても、売上高増加による売上総利益の増加等により、前年同期と比べ改善いたしました。

以上の結果、売上高は1,844億5百万円(前年同期比2.5%増加)、営業利益は1億32百万円(前年同期より2億10百万円の増加)となりました。

②低温食品事業

スーパーマーケット等を中心に取引は総じて堅調に推移したものの、コンビニエンスストア向け弁当製造ベンダーとの取引形態変更の影響により、売上高は減少いたしました。利益面につきましては、販管費は増加したものの、売上総利益の増加等により、前年同期を上回りました。

以上の結果、売上高は2,285億50百万円(前年同期比1.6%減少)、営業利益は21億78百万円(前年同期より3億10百万円の増加)となりました。

③酒類事業

消費増税後の反動減からのビール類を中心とした復調等により、売上高は増加いたしました。利益面につきましては、売上高増加による売上総利益の増加や販管費の減少等により、前年同期と比べ改善いたしました。

以上の結果、売上高は1,059億25百万円(前年同期比5.4%増加)、営業利益は△7百万円(前年同期より2億97百万円の増加)となりました。

④菓子事業

各小売態での取引が堅調に推移したことに加え、健康志向を背景にチョコレートやシリアル等が引き続き伸長したことにより、売上高は増加いたしました。利益面につきましては、売上高増加による売上総利益の増加に加え、在庫管理の業務精度の向上による改善効果等により、前年同期と比べ改善いたしました。

以上の結果、売上高は654億57百万円(前年同期比2.5%増加)、営業利益は63百万円(前年同期より1億40百万円の増加)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産が97億90百万円、負債が76億39百万円それぞれ増加し、純資産が21億51百万円増加いたしました。

総資産及び負債の増加の主な要因は、総資産においては「受取手形及び売掛金」の増加137億63百万円によるものであり、負債においては「支払手形及び買掛金」の増加173億84百万円及び未払金を主とした流動負債の「その他」の減少70億10百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の第2四半期及び通期の業績予想につきましては、平成27年5月7日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	402	2,110
受取手形及び売掛金	268,600	282,364
有価証券	3,500	3,500
商品及び製品	54,075	55,174
原材料及び貯蔵品	53	62
短期貸付金	73,253	71,402
その他	57,003	52,947
貸倒引当金	△82	△87
流動資産合計	456,806	467,475
固定資産		
有形固定資産	67,904	66,326
無形固定資産		
のれん	3,442	3,366
その他	5,316	6,369
無形固定資産合計	8,758	9,736
投資その他の資産		
投資有価証券	26,194	25,917
その他	17,738	17,723
貸倒引当金	△211	△196
投資その他の資産合計	43,722	43,444
固定資産合計	120,385	119,507
資産合計	577,191	586,982
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	360,504	377,888
引当金	2,204	26
その他	53,875	46,865
流動負債合計	416,584	424,780
固定負債		
役員退職慰労引当金	79	81
退職給付に係る負債	11,865	11,574
その他	9,640	9,373
固定負債合計	21,585	21,029
負債合計	438,170	445,809

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,630	10,630
資本剰余金	33,244	33,244
利益剰余金	90,752	92,317
自己株式	△2,551	△2,555
株主資本合計	132,075	133,636
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,406	7,084
繰延ヘッジ損益	△0	—
為替換算調整勘定	△6	△6
退職給付に係る調整累計額	△422	△409
その他の包括利益累計額合計	5,976	6,669
非支配株主持分	969	866
純資産合計	139,021	141,172
負債純資産合計	577,191	586,982

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	577,207	584,953
売上原価	538,745	544,979
売上総利益	38,461	39,974
販売費及び一般管理費	36,954	37,509
営業利益	1,507	2,464
営業外収益		
受取利息	33	34
受取配当金	312	319
不動産賃貸料	381	408
その他	350	333
営業外収益合計	1,076	1,095
営業外費用		
支払利息	32	34
不動産賃貸費用	288	312
その他	128	134
営業外費用合計	449	482
経常利益	2,134	3,077
特別利益		
投資有価証券売却益	1	1,534
固定資産売却益	72	18
その他	0	0
特別利益合計	74	1,552
特別損失		
投資有価証券評価損	—	159
減損損失	64	333
その他	0	2
特別損失合計	65	496
税金等調整前四半期純利益	2,143	4,133
法人税、住民税及び事業税	174	386
法人税等調整額	662	1,084
法人税等合計	837	1,471
四半期純利益	1,305	2,661
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△30	△103
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,336	2,765

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益	1,305	2,661
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,059	682
繰延ヘッジ損益	△0	0
退職給付に係る調整額	14	13
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	1,073	696
四半期包括利益	2,379	3,358
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,396	3,458
非支配株主に係る四半期包括利益	△17	△99

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	加工食品 事業	低温食品 事業	酒類事業	菓子事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	179,929	232,245	100,513	63,859	576,548	658	—	577,207
セグメント間の内部売上 高又は振替高	452	2,131	2,018	11	4,613	2,407	△7,021	—
計	180,381	234,377	102,531	63,871	581,161	3,066	△7,021	577,207
セグメント利益又は損失 (△)	△78	1,867	△305	△76	1,408	74	24	1,507

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産管理事業、物流関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額
報告セグメント計	1,408
「その他」の区分の利益	74
のれんの償却額	△76
全社費用	100
四半期連結損益計算書の営業利益	1,507

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	加工食品 事業	低温食品 事業	酒類事業	菓子事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	184,405	228,550	105,925	65,457	584,338	614	—	584,953
セグメント間の内部売上 高又は振替高	297	37	133	1	470	2,063	△2,533	—
計	184,702	228,588	106,059	65,459	584,809	2,677	△2,533	584,953
セグメント利益又は損失 (△)	132	2,178	△7	63	2,367	70	26	2,464

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流関連事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額
報告セグメント計	2,367
「その他」の区分の利益	70
のれんの償却額	△74
全社費用	101
四半期連結損益計算書の営業利益	2,464

4. 補足情報

(1) 品種別売上高明細表

(百万円未満切捨)

品種	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)		前連結会計年度 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
缶詰・調味料類	63,636	11.0	67,094	11.5	270,743	11.6
麺・乾物類	35,523	6.2	36,962	6.3	150,634	6.4
嗜好品・飲料類	64,473	11.2	68,139	11.6	252,353	10.8
菓子類	64,220	11.1	66,077	11.3	267,419	11.4
冷凍食品類	104,542	18.1	110,045	18.8	432,593	18.5
チルド食品類	117,159	20.3	103,354	17.7	428,140	18.3
ビール類	54,218	9.4	56,581	9.7	219,116	9.4
その他酒類	45,856	7.9	47,032	8.0	195,423	8.4
その他	27,578	4.8	29,664	5.1	120,829	5.2
合計	577,207	100.0	584,953	100.0	2,337,252	100.0

(2) 業態別売上高明細表

(百万円未満切捨)

業態	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)		前連結会計年度 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
卸売	53,301	9.2	51,394	8.8	216,348	9.3
GMS	44,877	7.8	44,536	7.6	188,062	8.1
SM	214,317	37.1	225,007	38.5	890,761	38.1
CVS	180,713	31.3	171,679	29.3	689,436	29.5
ドラッグストア	21,892	3.8	24,188	4.1	92,182	3.9
ユーザー	14,638	2.5	15,296	2.6	62,330	2.7
その他直販	40,061	7.0	44,279	7.6	162,361	6.9
(直販計)	516,502	89.5	524,987	89.7	2,085,135	89.2
メーカー・他	7,403	1.3	8,570	1.5	35,769	1.5
合計	577,207	100.0	584,953	100.0	2,337,252	100.0

(注) 1. GMSはゼネラル・マーチャングाइズ・ストアの略で、総合スーパーであります。

2. SMはスーパーマーケットであります。

3. CVSはコンビニエンスストアであります。

4. ユーザーは外食・中食・給食等消費者へ直接飲食サービスを提供する事業者であります。